令和６年 第１回 三朝町教育委員会 定例会　議事録

開　　会　　日	令和６年１月 23 日（火曜日）
開　催　場　所	三朝町役場２階　第２会議室
出　　席　　者	西田寛司教育長 塩谷俊樹委員、加藤るみこ委員、村岡麻梨委員、松浦靖明委員
欠　　席　　者	な　し
説明等の出席者	安田教育総務課長、角田社会教育課長、毛利図書館長、吉竹指導主事、福田教育総務係長
説明等の欠席者	な　し
報　告　事　項	（１）教育総務課事業について （２）令和５年度準要保護児童生徒の認定の取り消しについて【非公開】 （３）社会教育課事業について （４）図書館事業について
議　　　　　事	な　し
協　議　事　項	（１）いじめ根絶に向けた今後の対応方針に関する進捗について
そ　　の　　他	（１）令和５年度市町村教育委員会委員等研修会について

会　議　の　内　容

１　開　会　　　午前 10 時 03 分

教育長　　令和６年第１回定例会を開会します。

２　前回議事録承認　　前回の議事録につきましては、塩谷委員と加藤委員に承認をいただいております。

３　議事録署名委員指名　　本日の議事録署名委員は、村岡委員と松浦委員を指名します。

４　報告事項

教育長　　まず、二十歳を祝う会が１月７日に行われました。大変皆さんにはお忙しい中ご臨席いただきありがとうございました。「２分の１成人式」っていうことがかつて教科書に、最近は載ってないそうですけどあって、そのころの子どもたちですから、10 歳のころに将来の自分、二十歳の自分への贈り物だということで、図書館に結構タイムカプセルのように預けてあるものがあるです。それは西小学校の子どもさんが、みささ図書館に預けてる。それを近年、毎年タイムカプセルを開けてしてるというのがあって、まあ図書館長はだいぶうろうろされましたけど、箱がない、箱がないということで。そういう取り組みって素敵だなと思って、できたら２分の１成人式みたいなことを、国語の教科書になくてもしていただいたらいい励みになるんじゃないか

なと思ったりした次第です。

１月９日には県の教育委員会と町村教育長会が意見交換を行いました。特に教員の人材確保について、なかなか厳しい状況があると。簡単に大雑把に言いますと、学校現場、教員の労働環境が非常に悪いという宣伝が行き届いているものですから、ブラック企業のような扱いがマスコミでされており、その影響というのは志願者にも影響しているんじゃないかと。本来教職というのは尊い職業であり、大切な職業だということを皆さんがもっと讃えるというか、そういうことを認識していただくということがないと、なかなか教員を目指す人が増えないなということと、ただ鳥取県の競争率を見ていただくと非常に倍率が高くなっております。それは県外での受験をしているから。で、合格者がどう出しても実質県外ですから複数合格してらっしゃいます。そうすると鳥取県は一番最後になってしまうものですから、私なんかも考えるに、鳥取県が受かっとれば最初に鳥取県に行きたいなと思うような、そういう気持ちが働くようにして。関西受験会場の人たちが割と複数の合格を受けて辞退されるということがあるそうです。そういう現状があるということで、また今年も４月になった時の人事では、ひょっとしたら足りないかもしれないなというような。予定は小学校が 150 人に対して 203 だったでしょうか、合格者がいるんですけど、半分ぐらいになっちゃうんじゃないか。なら 50 ぐらい足りないというような話のようです。またこれはもう少し時間がたつともっと悪い状況になるという心配をされておりました。その中でどう教育現場で教育の水準を維持するかっていうのが宿題になっているかなというところです。

それから本日総合教育会議をしていただきました。大綱の見直しということでありました。

それから明日ですけど、未来を拓けみささっ子創造事業の 21 世紀を生き抜く中学生講演会が、小島よしおさんをお迎えしてすると。タイトルのとおり中学生が対象なんですけど、芸能人の小島よしおさんということで、今回に限り小学校３年生まで一緒に話を聞かせていただくということになっております。ただ小学校３年生から中学校３年生ですから幅広くて、話をされる方が大変かなと思ったりはしますけど。

あと、教育長としての私ですけど、町村教育長会の常任理事会が２月１日・２日と東京でありますので、それに参加する予定にしております。

事務局　（１）教育総務課事業について

（資料により報告）

教育長　ここまでで何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。

各教育委員　（意見等なし）

教育長　（２）令和５年度準要保護児童生徒の認定の取り消しについて【非公開】

個人情報に関わることですので、非公開で進めたいと思います。

事務局　（資料により報告）

教育長　この点についてご質問、ご意見がありましたらお願いしたいと思います

が、いかがでしょうか。

各教育委員　（意見等なし）

事務局　（３）社会教育課事業について

（資料により報告）

１月 20 日（土）、青空体験塾（雪遊び）ということで、俵原を予定しておりましたけれども、雪がありませんでしたので、恩原高原に場所を変更して、中学生ボランティアにもご協力をいただき、実施をいたしました。

２月に入りますが、２月４日（日）、スキー・スノボー教室を予定しております。今のところ雪が降っておりませんが、この３日間で何とか雪が降ったらいいかなと思っております。

その他の報告事項として、ドッジボールの関係の福田桜穂選手の激励会を年末の 12 月 26 日に役場玄関ロビーで行いました。本大会が 21 日から 24 日の日程で、サウジアラビアのリヤドで開催されるアジア予選に出場されることとなっております。福田選手は本日 23 日と明日 24 日の２日間、女子の部に出場予定で、７か国での予選リーグに勝ち上がれば明日の準決勝、決勝に進むこととなります。町教育委員会としても活躍を期待するとともに、役場庁舎の入口の懸垂幕、それから大瀬のキュリー公園に設置されている電光掲示板で町民の皆さんへ周知を行っているところでございます。

事務局　（４）図書館事業について

（資料により報告）

本の福袋では、大人の方対象の一般書をセットにしたもの、絵本をセットにしたもの、それから小学生を対象に読み物をセットにしたものの３種類を準備しました。

絵本作家、田島征三さんの企画展示では、併せまして絵本エッセイも展示しました。

１月 20 日には、昨年の５月から月１回、親子で楽しむおはなし会を館内で実施しておりますが、こちらのおはなし会に協力いただいているボランティアさんに集まっていただいて、意見交換会を実施しました。

２月 20 日から館内の展示の入れ替えをしまして、２月 22 日の猫の日に関連しまして、ニャンニャンニャン作品展を開催するようにしております。

教育長　何かご意見、ご質問…。

教育委員　質問でもいいですか。

教育長　はい、どうぞ。

教育委員　１月 19 日に研修会議というのがありまして、障がい者サービス実務とあるんですが、図書館における障がい者サービス実務というのはどういうのがあるんでしょうか。

事務局　目の不自由な方に図書の貸出をしておりまして、サピエ図書館というのが全国にあるんですけど、そちらからデイジー図書を借りて、郵便で貸出をしているというようなサービスをしておりますし、あとは点字書籍を収集したりですとか、そのようなサービスを提供させていただいております。

教育長　デイジー図書の説明を。ちょこっと補足説明をお願いします。

事務局　専用機器での再生が必要になるんですけれども、ＣＤのようなものに音で、朗読で本が吹き込んでありまして、それを専用の再生機で再生をするというような書籍になります。

教育長　よろしいでしょうか。

教育委員　はい、ありがとうございます。

教育長　他はいかがでしょうか。

教育委員　１月 31 日に社会教育課の学校運営協議会先進地視察研修ということですが、これはコミュニティ・スクールの具体というか、何かあるんでしょうか。さっきも話が出ましたけど、やっぱり地域との関わりというのをこういうところでできるんだろうと思うので、帰って来られたら、いろいろご報告があると思いますけど、２月でも３月でも結構なので、ちょっと聞きたいなと思いますのでよろしくお願いします。

教育長　行程なり、どんなことを視察に行かれるか、説明補足していただけますか。

事務局　当日は、向こう到着がお昼過ぎになりまして、日野学園の先生の方から授業の視察もどうですかという話がありましたので、授業の見学と、併せて同日に開催されます日野学園の学校運営協議会、こちらの方に参加をさせていただいて、取り組みの事例ですとか、現在の状況について意見交換、ご説明をいただいて、来年度のコミュニティ・スクールの活動につなげていければなということで予定をしています。

教育長　参加者はマイクロバスで行くでしょ？ じゃないですか？ 余裕がありますかって話。参加予定者に、枠の中で余裕がありますか？ 余裕があって、興味があれば教育委員さん、どうですかと思ってですけど。

教育委員　ちょっと行くのは難しい。

教育長　その状況はどうです？何人くらい行かれて、どうかっていうのは。

事務局　出席状況はまだとりまとめをしているところでございますので、正確な数字は把握できておりませんが、もしご参加いただけるということであれば、ご連絡をいただければと思います。

教育長　もしよろしければ、事務局に申し出ていただければと思います。
他はいかがでしょうか。

各教育委員　（意見等なし）

５　議　事

教育長　本日の議事はありません。

６　協議事項

事務局　（１）いじめ根絶に向けた今後の対応方針に関する進捗について
（資料により説明）
先月の教育委員会定例会の中で委員の皆さんにお願いしたところでございますが、いじめ根絶に向けた各学校の対応方針に対するご意見を、お忙し

いところでございましたがお寄せいただいたところでございます。お寄せいただいたご意見については、こちらの１枚物の紙に掲載をしているところでございますが、それ以外に何か付け加えてこんなこともということがあればお聞かせ願えればと思いますし、当然お寄せいただきました内容につきましては、本日もしご意見いただければその内容を加えて学校の方にはお伝えを確実にしたいと思っておりますので、皆さんの方で付け加えることがあればこの場でご発言いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

教育長　いじめ根絶に向けた各学校の対応方針を受けて、それに対する意見を、追加であれば…。

事務局　そうですね、はい。もしご意見がございましたならば。

教育長　意見はこれだけしかなかったと。

事務局　とりあえず、はい。いただいたご意見については、ここに書いてあるとおりでございます。

教育長　いかがでしょうか。

教育委員　学校全体の雰囲気を変えていくということの根本は、学級づくりが基本になるんだろうと思っています。もっと小さい単位もあろうかと思いますけど、こうしたことの多くは小学校においてはクラスの中でどうしても発生しがちだし、中学校は部活という部分もあったりもするんですけど、クラスの雰囲気というのがすごく大事だというふうに感じてきました。学校のいろんな教室を周ってみると、入った瞬間に温かい空気だなと感じる教室があったりとか、何となく尖ってるなということを感じる雰囲気の教室もあったりとかということも過去にはそういう経験もしてるので、それは何かというとやはりそのクラスの学級づくりがきちっとできてるかどうかということに尽きるだろうなと思っていました。ですから、そういった仲間づくりということをきちんとやってはいらっしゃると思いますが、大事にしながらいろんな仕掛けをクラスの中でしてもらって、温かい雰囲気のクラスづくりというのをしていただくのが大事かなというふうに思います。どうしても一人ひとりの先生方の力が、若い先生もあれば上の先生もあったりして差があるので、そこは中学校で言えば学年団とか学校だとか、他の先生の力もいろいろとプラスアルファしながら、そういった動きをしていってほしいななんていう思いはあります。

教育委員　まさしく委員のおっしゃるとおりですし、学校とすれば方針のとおりやっていただければいいんですけども、もう一つは家庭というのがしっかりそういう意識を持っていかないといけないのかな。保護者の方がですね。学校だけではこういうのはなくならないと思いますから、そこら辺の連携をしっかり密に取ってもらって、変な言い方かもしれないですけども保護者の方にもしっかり説明のことを、教育っていう言い方はいけないかもしれないですけども、認識をしていただかないといけないのかなというふうに思いますから、学校からというか教育委員会からということでもいいかもしれないですけども、保護者と一緒になって学校がすることだろうと思いますけど、まあ

地域もですけどね、そういうことも特に必要なんじゃないかなと思います。

教育長　私もちょっと発言させてもらってよろしいでしょうか。一つは学校の雰囲気作りということで、小学校には言ってないですけど中学校にお願いしたことがですね、いじめ撲滅のことで生徒信条とか撲滅宣言が風化しているんじゃないか、古く作り上げた時の近くの人たちは鮮明に覚えがあるけど、今の子どもたちに落とし込めてないし、先生も意識してないから、生徒会でもう１回おさらいの意味を込めて話をしていただけませんかということをお願いしました。もう一つ、ジェンダーの関係で、最近制服の話が倉吉も出ましたし、その前から審査のない制服ってどうでしょうという話も校長先生とはしてて、そのことも生徒会で１回話をしてみてもらえますかと。先生が助言して導くということもあるんですけど、子どもらが意識して考えてくれてこそ、初めて教師の現場の成果が上がるんじゃないかという思いから、そういうお話をさせていただいております。どういう動きをされるかちょっと楽しみなんですけど。というようなことをお話させていただきました。もう一つ、学級づくりが大切なのはよくわかるんですけど、能力の上手に運営できる先生と、そうでない先生がいて、そうでない先生にとってはすごく苦しいと。中学校ですと教科も、小学校だったらそこはないんですけど、苦しさがあって、苦しさを職員室なりで発言できる、相談できる雰囲気がないと。せめて学年団で、１週間ぐらいずつおさらいなり、何があったのというような話ができることもお願いしているところです。今日お願いしたから明日から直るということではないですけど、報連相と言いますね、報告・連絡・相談が、特に中学校の方がうまく回ってないかなという、校長先生との話の印象でそういうことを思いました。小学校の方はその点まずまずかなとは思いますけど、それでも学年団で助け合って、フォローしあって学校生活を送らせるというところで、さらに高いところを目指していただきたいなというのは思うわけですけど。そんなようなことを思っておりますし、そういうような働き掛けをさせてもらっております。

　他はいかがでしょうか。どうですか。

教育委員　今、ジェンダーレスの制服のお話がありましたけども、生徒会の方ではどのような意見があるんでしょうか。特に何も上がってはない感じでしょうか。

教育長　校長先生と話をした時には、全くそういう話はなかったです。子どものこういう動きがあるとか、生徒会でこんな話があったという話がなかったので、想像ですけど生徒会ではまだそういう話がされてないんじゃないかと。そういう印象を思ってます。ですからぜひどこかのタイミングで、一つの話し合う、学校生活を子どもらも一緒になって参加して作り上げていくという形にしてほしいなと思って、相談というか意見を述べたというところで今止まってますから、おっしゃるとおり生徒会でどうでした、子どもらはどういう反応でしたかというのは、また聞いてみたいと思います。

教育委員　女子生徒の中でスラックスみたいなのを履いているのは、個人的に購入し

てという話を以前に伺ったんですけども、少なくとも需要はあるのかなというふうに私は捉えていて、私が中学校３年生の時に、当時男子は丸坊主、女子はショートカットという校則があったのを、生徒会から生徒総会に出して、長髪ＯＫというような流れを生んだ経緯もありますし、もし生徒会でそういう話があればどんどん話を進めて、取り上げていってもいいんじゃないかなと思って今お伺いしました。

教育委員　今の制服の話で、ここまで飛躍していいかはあれなんですけども、スカートを履きたくないという違和感を感じる生徒さんがスラックスを履くという流れにはなってるんですけど、逆ってないのかな。ズボンを履きたくないという男子生徒さんがいて、その人がスカート履くという選択肢は今のところ出てきてないような気がするんですけど、それもあるよねとは思うです。そういうのを言いづらいのかな、逆に言うと今。スラックスで終わっちゃう、それが全体の制服の解決策みたいなことになってるけど、逆もあるんじゃないかな。そうした場合に、そういう生徒さんへの保護というか、アプローチというのは、こっちからしてあげないと手を挙げにくいよね、声を出しにくいよね逆に、というふうに思うんですけど、そういうふうなところまで踏み込んでいかないといけないのか、もしくは一歩ずつ進んでいくのか、どうなんだろうかなということですね。

教育長　何の根拠もなく、感想として聞いていただくと、校長先生と話をした時も、面白おかしくという観点で、男の子がスカート履いてきたときどうするという思いと、真に、精神的に肉体的な性のギャップがある、肉体的には男の子が精神は女の子だと、そうした時にスカートがいいと言った時の対応は、私らの今まで育ってきた指向の仕方では理解できないというか、対応しきれないというのは率直に思います。ですからとりあえず子どもらの中で話をどうされるのか、それを見守りながら私らも横で勉強するしか、どういうふうに進めていくのがいいのかというのは、自分らも勉強しなきゃ、変えれないと理解できませんから、というような話をしたことがあります。特効薬というか、スパーンと考えを変えられるほど人間ができてませんから、そこが葛藤があるところですね。ちょっと理解しにくいというか、まだ越えられないというか、そういう思いを持っているんです。

教育委員　女の人がズボンを履くっていうのは、一般的にあるんですからね、ジーパンであったって何だって皆さん履くから。それはスーッと入ってくるんですよね。制服の中にスラックスがありますというのは。だけど逆はまずないんです、日本では。外国ではあるのかもしれないですけど。だからそこを変えていかないと解決しない。僕らの頭の思考ですね。僕もやっぱり違和感はありますよね。街中でそうやってる人がいたらウッと思っちゃうという思考があるので、その辺を変えていかないといけないし、さっきも言いましたけどやっぱり同じスカート履きたくない、ズボン履きたいという気持ちと、ズボン履きたくない、スカート履きたいという気持ちは多分同じぐらい、同じ思いの人はおそらくいるのではないか。全国的にですよ、三朝町どうのこうの

ということではないですけど、そこら辺は子どもさんからの意見というのは全然いいことですからあれですけども、考えを押し付けないことですね。もう否定しないということなんだろうなと思いますけどね。もしそういう人がいたら、僕らは教育委員会としてはどうしていくんだというのを、心の準備じゃないですけど準備はしておかないといけないのかな、そういう時代じゃないかなというふうには思います。

教育委員　確かに女生徒がスカートを履きたくないということについての思いはよくわかります。で、男生徒がズボンじゃなくてスカートを履きたいという感覚まで、現場の時には考えたことありませんでした。で、言われたように確かにハッとするんですけど、いわゆる学校教育の現場なので、いわゆるグレーゾーン、中間、これだったら両方がある程度納得して着られたりとか、過ごせたりとかというような形のところを、やっぱり落としどころとしていかないと、なかなか現場としての運営が非常に難しくなるかなという感じはするんですよね。じゃあ僕らだってこの場にスカートを履いて私がパッと来た時にすごく違和感を持たれると思いますけど、実際でもそういったことも認めていかないといけない時代にはなってるし、これはよくわかるんですけど、そういったところの自分の心のケアというのは、例えば家庭に帰ってスカートとセーターで過ごすとか、そういったところで消化していくみたいなところもあるのかなとも思ってみたり、非常に難しいところでハッとさせられましたけど、今の意見は。女性がスカートからズボンへというのはよくわかるんですけど、男性がズボンからスカートへというのはあまり考えたことなかったなと思ってね。

教育長　他はいかがでしょうか。

教育委員　スカートを考える前に、自分がそういう性的な思考があるというね、カミングアウトするということがすごい大きなハードルだと思うんですよ。それをちゃんと受け入れる社会が今のところ整備されてないというところもあるし、カミングアウトしたが故に自殺したり命を絶たなければならないというようなことも起こったりとか、多々あるので、まずはスカート履く前のカミングアウトというか、自分がそうであると認識して社会に発信していくというところのハードルを下げていかないといけないんじゃないかな。その次にスカートを履くとかというのはあるのかな。ただスカートを履いて自分はそうだって訴えられる社会がね、どうなのかなという気がして。でもそういう視点って大事だなっていうのを、今話を聞きながら感じました。

教育長　ありがとうございます。本当はいじめ根絶の話だったですけど、ずれちゃいますので、たぶん子どもらに協議させて、視点だけは同じように、「あれ、おかしいな」と思うことをみんなで協議して、ここだけ最低限のところここだよ、私たちのルールを作ろうとかそういうことだと思うんですけど。

教育委員　いじめの根本って何かというと、やっぱり人と違うというところから割とスタートしてるという、自分と違うというところ、または自分の考えと違うとか、自分の意見に賛同しないとか、そういったその、相手と自分と違うと

いうところから割とスタートしてることって多いかなっていうような気がして。今の話もそうだと思うんですよ。それを相手をきちんと認めるかどうかという、違う考えを認めていくかどうか、それを許容していくかどうかというのがすごく大事なことのような気がします。

教育長　ちょっと、時間が11時になって、何か学校の校舎の視察を11時からとしているらしくて。結論はちょっと出しにくいですけど、いじめについてはこの意見を踏まえて学校に課長から伝えてもらうなり、私も行った時にお話させていただくということで、この協議事項は以上とさせてもらってよろしいですか。

各教育委員　はい。

7　その他

事務局　（１）令和５年度市町村教育委員会委員等研修会について

（資料により説明）

当日は各自で現地に向かっていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

教育長　当日、私は町村教育長会の常任理事会で東京に行っておりますので、欠席とさせていただきますけど、どうぞよろしくお願いします。

この件に関して、何かご質問、ご意見はありますか。

各教育委員　（意見等なし）

8　閉　会

教育長　次回については、２月27日火曜日、午後１時30分集合、定例会は午後２時からということでよろしくお願いします。

また、臨時会と書いてありますのは、教職員人事の内示がありますので、それを皆さんに承認していただいて、同意をいただいて、それから校長内示ということになりますので、３月 12 日火曜日、午後２時にお集まりいただきたいと思います。

以上をもちまして、令和６年第１回三朝町教育委員会定例会を閉会します。

午前11時02分